

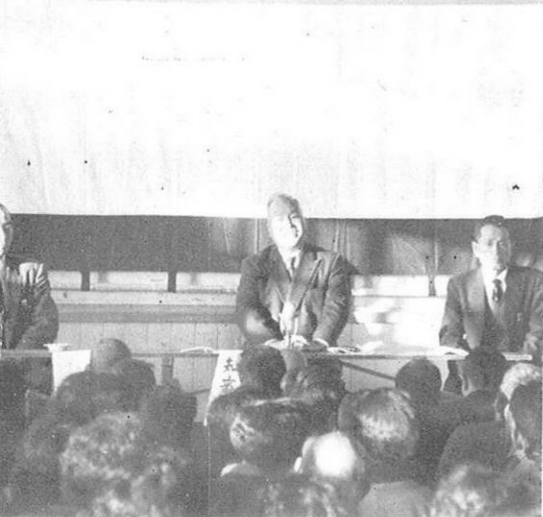


↑ 朝もやをついて今日の会場へ……



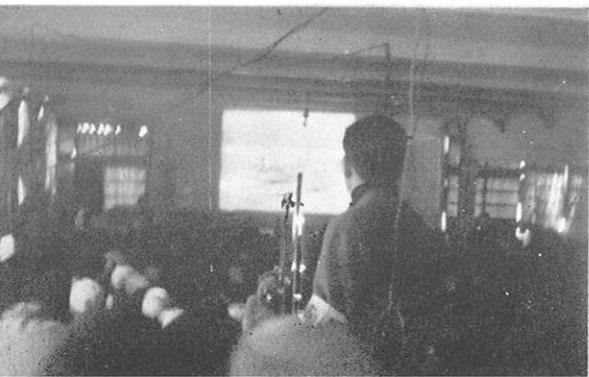
↑ 今日は村も農休日。続々集まる人々。

# 総合発表と知事を囲む懇



↑ 知事も地元の人々と膝をつきあわせて……

↓ 夜は国体記録映画の上映や漫才なども。



## 城北県境に行く

### 移動県政相談

盛りあがった郷土づくりの意欲

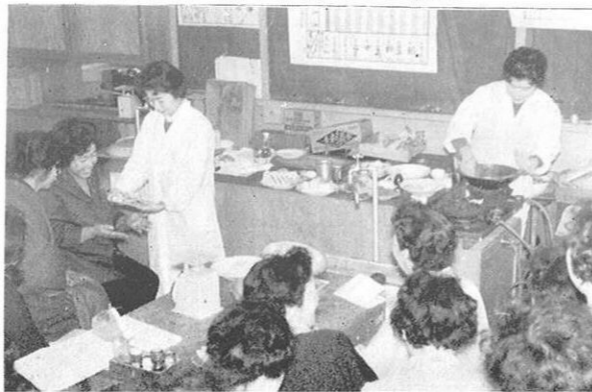
さる12月6日から4日間、県ではNHK熊本中央放送局地元町村と共催で「城北県境に行く移動県政相談」を行った。これは地元の人々の声を直接聞いて県政に反映させると共に、県と地元との結びつきを一層深めようというもの。会場は城北県境の南関町、三加和村、鹿北村、菊鹿村の四町村。



↑ 各相談室では係員が応待に大わらわ。また、各分科会では熱心な討議が行われた。



↓ 栄養料理の講習会は婦人会に大好評。



## くらしの

### モ

#### 小児マヒの緊急措置

近年の小児マヒの流行は、一昨年の山鹿市の例や、今年の北海道の集団発生の例からも目新しい様に、非常に濃厚感染の気配が強くなつてきています。

今度の緊急措置はこの全国的な危険に照合した処置で、最も危険率の高い年齢の子供達を守つて、全部の流行を防ごうというものです。

それは来年の一月から三月までに、昭和三十四年七月から昭和三十五年六月の間に生れた子供、すなわち生後六カ月から一年半の子供達にソークワクチンを接種して、その後引き続き乳児をまず接種の対象にしていくわけです。

価格は一回分四百円、A・B・Cの三階層にして困っている人には料金の減免、全免の措置が考えられており、厚生省当局では、昭和三十六年の当初に、該当する年齢層の七〇％は接種できるものと見なしています。

県でも、この年令の乳幼児が一番感受性も発病率も高いので、いまその準備を急いでいます。

ソークワクチンの供給量も大分案になつてくるので、子をもつ親達の心配も軽くなるものと期待しています。

このためには国が作つていてる予算に見合う予算を県や市町村が急いで作る必要があるですが、何よりもこの新しい予防接種を子供を守るために必ず受けさせようという心構えが必要なのではないでしょうか。

予防接種は一応三回行いますが、注射した翌日から完全な効果があるというわけではありません。

予防接種は流行期前に終つておいて、流行期には子供を過労させない様に、またハエや蚊を退治する等万全の措置が必要ですよ。

(衛生部)

#### これから

##### ふえる火災

九〇％は不注意から

寒さが増すにつれて火を取り扱う回数や量が多くなり、これらが原因で火災となるのが少なくありません。そのうえ、十二月は何かと忙がしい月で人の気持ちに落着きがなく火に対する注意も怠りがちです。

県内の昨年の火災発生件数は四百七十三件で三億四千万円の損害を出しておりますが、中でも十二月と一月の寒さの厳しい月が断然多く、全体の二三％を示しております。

最近特に石油こんろや煙草の吸がら、電気器具などからの火災がふえています。その九〇％は不注意によるものです。年末年始にかけては、特に注意して下さい。

(消防課)

#### 年末年始の防犯運動

例年年末になると犯罪や事故が多くなります。

そこで警察では、十二月一日から防犯運動をおこし、警察の総力を挙げて夜警や取締まりを行つております。

みなさんもこの運動にご理解をいただき、次のようなことに注意して、少しでも犯罪や事故を少くしてください。

一、盗難はねらわれる状態をなくすことが第一です

完全な戸締りの励行、カギは二重三重にし、やすむ前、外出の時にはもう一度確かめ、留守する場合には、隣近所の人に頼んでかける。家には必要以上の金をおかず、銀行・郵便局からの金の出し入れには、なるべく女、子供はさける。店先の見張りに気をくばつて、かつばら一寸の間でも必ずかけるように励行する

こと。

二、暴力事犯の追放には勇気と断乎たる決意をもつてのぞみ、被害にあつたら警察に届けることです

ゆすり、たかり等暴力事犯は、一寸したこと、いやがらせをみのがすと更に無理難題をふつけてきます。押売りには玄關で品物を広げないうちに、はつきりと断わり同情は禁物です。すぐみをきかせ帰らない場合はすぐ警察に届けること。どんな名義でも寄付強要はできません。あまい態度は相手に乗せられるので、必要がないと思つたらその場ではつきりと断ることです。

三、痴漢は自ら防げます

暗がりの一人歩きは絶対にさけ、映画館、電車、バスの中で怪しい男と思つたら席をかえ、知らない男の口車にはのらないことです。警察では被害者の秘密は絶対に守りますので積極的に届け度を望みます。

四、少年の生活は愛情をもつて見守つてやることです

正月という事情と冬休みなど不良化の機会も多いので、遊び友達、夜間の外出、持ち物(特に思わぬ事故を防ぐため刃物類は持ち歩かせない)に注意し、過ちを起さない前に、ほどよく指導しましょう。

(警察本部)